



ひがしっ子



文責:宮崎 淳子



ご迷惑をお掛けいたしました

7月は、お休みをいただき、ご迷惑をおかけしました。予定より3日長引き、7月27日に退院しました。約8時間という手術、検査等で、痛い思いや苦しい思いをし、自分が思っていた以上に、大変な日々でした。たくさんの管につなわれ、寝たままの日々。寝返りにも制限があり、背中や腰も痛く、寝ていることがこんなに辛いとは…と初めて知りました。そんな中、私の不安や辛さを支えてくれたのは、子供たち



＜病室に飾っていた
子供たちからのお手紙＞

ちでした。「校長先生がんばって」などのお手紙をくれたり、入院前日に「校長先生にエネルギーを送る」と校長室で「か～め～は～め～は～」とエネルギーを送ってくれたりしました。そして、右の写真。これは、1学期終業式のときに、メッセージ動画を送ってくれたのです。うれしい



のと、子供たちや先生方が恋しいのとで、涙が止まらず、何回も何回も再生して見ました。

お陰様で、順調に回復し、8月から復帰することができています。しかし、今後も毎週福岡の病院へ通います。また、免疫抑制剤を飲んでいるため、感染症がとても怖く重症化するため、マスクを着用するなど、予防をしていきます。そのような状態で、まだ、100%とはいかないかも知れませんが、早く、7月の1か月分を取り戻していきたいと思っています。2学期から、またよろしくお願いします。

2学期スタート

まずは、本日、大好きな子供たちの元気な姿を久しぶりに見る事ができて、とてもうれしくなりました。今年度の夏休みは、何と45日間ありました。これは、これまでの最長ではないでしょうか。気象庁では「酷暑」という段階が示されました。40度など、本当に考えられない暑さです。今後地球はどうなっていくのだろうか…と心配になります。この暑さの中、子供たちはどのように過ごしていたでしょうか？「外で遊びなさい」なんて簡単に言えない危険な暑さが続きましたね。そんな中でも、充実した夏休みが過ごせていたでしょう

裏面へ続きます→

か？必ずしも旅行等の外出だけでなく、たくさん本を読んだとか、自由研究をしたとか、それぞれの過ごし方があったと思います。子供たちから話を聞くのが楽しみです。

2学期は以下のような行事等を計画しています。子供たちの健康や安全に配慮した上で、楽しい活動、学びのある活動として計画を立てていきたいと考えています。2学期も1学期同様、ご理解とご協力をお願いします。

<2学期の主な行事等>

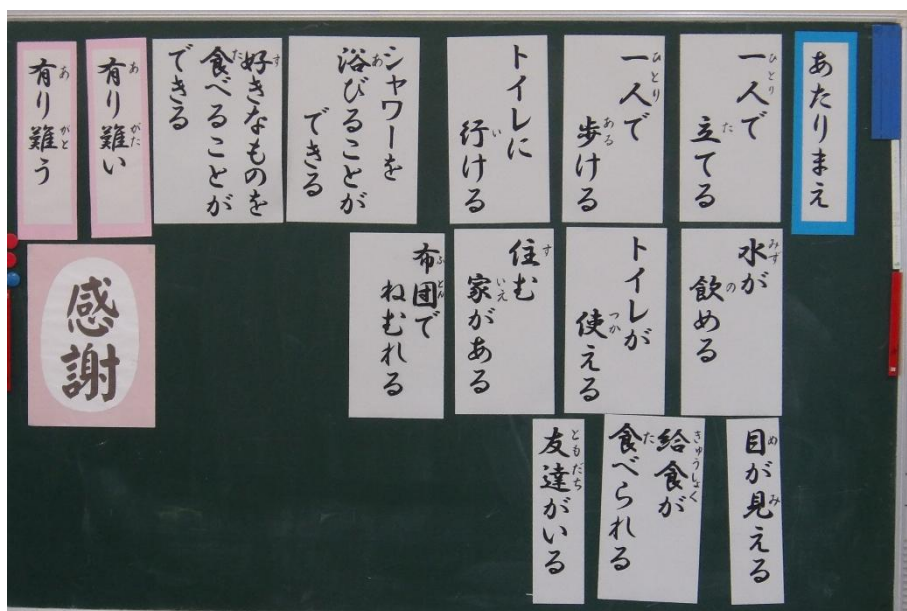
オカリナ教室（5、6年）	アピールタイム	宿泊学習（5年生）
バス旅行（1～4年生）	修学旅行（6年生）	松原清掃
東っ子フェスタ	オカリナコンサート	持久走大会
成和小・外町小との交流学习（5、6年生）		アルモニア管弦楽団コンサート

始業式

今年の夏は、大きな災害が立て続けにありました。熊本の地震や、千葉・福井などの大雨、海外でも、ネパールで洪水・土石流による災害がありました。

始業式では、それを踏まえ、みんなが、日常当たり前にできていることは、実は、当たり前ではなく、有難いことなのだという話をしました。

「トイレが使える」「住む家がある」「布団で眠れる」「ご飯が食べられる」・・・日常の中で、あまりにも当たり前であり、子供たちは気にもかけていなかったのではないのでしょうか。しかし、災害に遭った方々はこの暑い中、ライフラインが復旧するまではエアコンもなく、水もなく、現在もいまだに不自由な生活をされていることと思います。さらに、命を落とされた方もおられます。子供たちには、そのような方々に思いを寄せてほしいということと、今ある日常に感謝してほしいという思いから話をしました。そして、最後に、命があるだけで、生きていくということ自体が有難いという話をしました。心に響いてくれているとよいのですが…。



家族のように

<笑顔あふれる東唐津小学校>

<学校教育目標>

みんなと 確かに 伸びる児童の育成

①人を大切にする子 ②頑張る子 ③しっかり考える子